



2023年3月期 第2四半期決算短信（日本基準）（連結）

2022年11月8日

上場会社名 不二サッシ株式会社
 コード番号 5940 URL <https://www.fujisash.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 吉田 勉
 (氏名) 町田 仁

TEL 03-6867-0777

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	45,269	12.1	△1,186	—	△1,020	—	△1,276	—
2022年3月期第2四半期	40,383	—	△920	—	△735	—	△1,001	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △1,225百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △947百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△10.11	—
2022年3月期第2四半期	△7.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	83,079	16,713	19.9	130.94
2022年3月期	83,315	18,065	21.5	141.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 16,523百万円 2022年3月期 17,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	98,000	8.4	760	△14.2	660	△40.1	377	—
								2.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	126,267,824 株	2022年3月期	126,267,824 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	79,880 株	2022年3月期	79,154 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	126,188,409 株	2022年3月期2Q	126,189,710 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数はマンションや戸建てでは緩やかな増加傾向が継続しておりますが、持ち家では依然として減少が続いており先行きが不透明な状況です。また、各事業分野において、原材料費、諸資材価格及び燃料費等の高騰の影響を受けており、厳しい事業環境となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高452億6千9百万円（前年同四半期比12.1%増）、営業損失11億8千6百万円（前年同四半期は営業損失9億2千万円）、経常損失10億2千万円（前年同四半期は経常損失7億3千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12億7千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億1百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

建材事業においては、ビル新築事業のプロセス管理を徹底した営業強化やリニューアル事業に注力したことなどにより、売上高は322億5百万円（前年同四半期比11.7%増）と増収になりましたが、諸資材価格高騰などの影響を抑えきれずセグメント損失は5億6千9百万円（前年同四半期はセグメント損失2億6千5百万円）と減益になりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、アルミ地金市況に連動した販売単価上昇などにより、売上高は107億1千1百万円（前年同四半期比18.1%増）と増収になり、諸資材価格の高騰の影響を受けたものの、生産体制の見直しなどの抜本的改革を進めたことなどにより、セグメント損失は1億7千万円（前年同四半期はセグメント損失2億9千6百万円）と赤字幅を縮小いたしました。

〔環境事業〕

環境事業においては、半導体などの需給逼迫の影響による工期変更や薬剤価格の高騰などの影響を受け、売上高は10億2千8百万円（前年同四半期比23.8%減）、セグメント利益は5千8百万円（前年同四半期はセグメント利益1億4千6百万円）と減収減益になりました。

〔物流事業〕

物流事業においては、燃料費高騰などの影響を受けましたが、営業倉庫の活用や輸出入業務ならびに大型案件のスポット受注などにより、売上高は11億9千3百万円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント利益は1億5千1百万円（前年同四半期はセグメント利益1億5千3百万円）と利益を確保しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は489億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千3百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が6億9千1百万円、仕掛品が3億5千5百万円、原材料及び貯蔵品が6億3千1百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が20億7千4百万円減少したことによるものであります。固定資産は341億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千7百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億2千4百万円、無形固定資産が8千5百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は830億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千6百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は397億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千6百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が9億1千4百万円、契約負債が7億6千1百万円増加し、支払手形及び買掛金が7億5千4百万円減少したことによるものであります。固定負債は266億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3億6千1百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は663億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億1千5百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は167億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5千1百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が14億2百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は19.9%（前連結会計年度末は21.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表しました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,523	15,214
受取手形、売掛金及び契約資産	20,501	18,426
電子記録債権	6,257	5,609
商品及び製品	1,277	1,387
仕掛品	1,817	2,172
原材料及び貯蔵品	4,086	4,717
販売用不動産	297	297
その他	1,368	1,854
貸倒引当金	△701	△746
流動資産合計	49,426	48,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,389	39,584
減価償却累計額及び減損損失累計額	△32,168	△32,616
建物及び構築物（純額）	7,220	6,968
機械装置及び運搬具	38,290	38,607
減価償却累計額及び減損損失累計額	△35,754	△35,881
機械装置及び運搬具（純額）	2,535	2,726
土地	13,328	13,331
リース資産	2,370	2,566
減価償却累計額	△1,175	△1,286
リース資産（純額）	1,195	1,279
建設仮勘定	183	239
その他	11,621	11,771
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,709	△10,816
その他（純額）	912	954
有形固定資産合計	25,376	25,500
無形固定資産		
のれん	187	164
その他	363	471
無形固定資産合計	550	635
投資その他の資産		
投資有価証券	2,865	2,917
長期貸付金	301	300
繰延税金資産	3,292	3,267
その他	2,379	2,394
貸倒引当金	△877	△870
投資その他の資産合計	7,962	8,009
固定資産合計	33,888	34,146
資産合計	83,315	83,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,073	13,319
電子記録債務	6,200	6,318
短期借入金	13,286	14,200
1年内償還予定の社債	70	70
リース債務	244	290
未払法人税等	229	141
契約負債	1,757	2,519
工事損失引当金	288	307
その他	2,833	2,574
流動負債合計	38,984	39,741
固定負債		
社債	3,445	3,410
長期借入金	5,666	6,027
リース債務	1,082	1,135
繰延税金負債	30	30
再評価に係る繰延税金負債	409	409
退職給付に係る負債	15,060	15,042
資産除去債務	271	271
その他	300	297
固定負債合計	26,265	26,624
負債合計	65,250	66,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	13,694	12,292
自己株式	△9	△9
株主資本合計	16,210	14,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	866
土地再評価差額金	1,635	1,635
為替換算調整勘定	△458	△489
退職給付に係る調整累計額	△359	△297
その他の包括利益累計額合計	1,678	1,714
非支配株主持分	175	190
純資産合計	18,065	16,713
負債純資産合計	83,315	83,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	40,383	45,269
売上原価	34,989	39,991
売上総利益	5,394	5,277
販売費及び一般管理費	6,314	6,464
営業損失(△)	△920	△1,186
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	74	84
受取賃貸料	41	44
持分法による投資利益	76	18
電力販売収益	83	80
雇用調整助成金	53	—
為替差益	3	156
その他	87	66
営業外収益合計	430	459
営業外費用		
支払利息	120	120
電力販売費用	69	69
支払手数料	31	33
その他	23	69
営業外費用合計	245	293
経常損失(△)	△735	△1,020
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	31
特別利益合計	1	32
特別損失		
固定資産除却損	29	1
事業構造改善費用	139	—
減損損失	—	209
特別損失合計	169	211
税金等調整前四半期純損失(△)	△904	△1,199
法人税等	102	71
四半期純損失(△)	△1,006	△1,271
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,001	△1,276

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,006	△1,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	4
為替換算調整勘定	△1	△26
退職給付に係る調整額	94	62
持分法適用会社に対する持分相当額	2	5
その他の包括利益合計	58	46
四半期包括利益	△947	△1,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△943	△1,240
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△904	△1,199
減価償却費	1,118	949
減損損失	—	209
持分法による投資損益 (△は益)	△76	△18
受取利息及び受取配当金	△83	△92
支払利息	120	120
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△1
固定資産除却損	29	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△11
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△59	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△162	65
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,134	2,827
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,066	△1,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,239	△656
前受金の増減額 (△は減少)	△7,946	—
契約負債の増減額 (△は減少)	2,265	761
その他の資産の増減額 (△は増加)	△62	△453
その他の負債の増減額 (△は減少)	△671	△471
その他	△23	△134
小計	△778	820
利息及び配当金の受取額	86	96
利息の支払額	△120	△106
法人税等の支払額	△121	△137
その他	16	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△917	673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△47	△31
定期預金の払戻による収入	63	97
有形固定資産の取得による支出	△702	△844
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△71	△167
投資有価証券の取得による支出	△9	△30
投資有価証券の売却による収入	—	42
資産除去債務の履行による支出	△4	—
その他	△3	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△774	△855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,893	701
長期借入れによる収入	2,452	2,201
長期借入金の返済による支出	△1,706	△1,736
社債の償還による支出	△105	△35
その他	△262	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,515	838
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,206	742
現金及び現金同等物の期首残高	15,886	13,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,680	14,303

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

1. 新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻の影響に伴う会計上の見積りについて
前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻による当社グループへの影響に関する仮定について重要な変更はありません。
2. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用
当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下、「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、 ドア、室内建具、エクステリ ア製品等	28,830	—	—	—	28,830	—	28,830
アルミ形材、アルミ精密加工 品等	—	9,070	—	—	9,070	—	9,070
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理 設備プラントとそれに伴う薬 剤販売、都市ゴミリサイクル 施設の設計・製作・工事	—	—	1,350	—	1,350	—	1,350
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,006	1,006	—	1,006
その他	—	—	—	—	—	11	11
顧客との契約から生じる収益	28,830	9,070	1,350	1,006	40,257	11	40,268
その他の収益	—	—	—	—	—	114	114
外部顧客に対する売上高	28,830	9,070	1,350	1,006	40,257	125	40,383
セグメント間の内部売上高又 は振替高	451	2,618	—	1,208	4,278	—	4,278
計	29,282	11,689	1,350	2,214	44,536	125	44,662
セグメント利益又は損失（△）	△265	△296	146	153	△261	61	△200

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△261
「その他」の区分の利益	61
セグメント間取引消去	109
全社費用（注）	△829
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△920

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、 ドア、室内建具、エクステリ ア製品等	32,205	—	—	—	32,205	—	32,205
アルミ形材、アルミ精密加工 品等	—	10,711	—	—	10,711	—	10,711
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理 設備プラントとそれに伴う薬 剤販売、都市ゴミリサイクル 施設の設計・製作・工事	—	—	1,028	—	1,028	—	1,028
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,193	1,193	—	1,193
その他	—	—	—	—	—	12	12
顧客との契約から生じる収益	32,205	10,711	1,028	1,193	45,138	12	45,150
その他の収益	—	—	—	—	—	118	118
外部顧客に対する売上高	32,205	10,711	1,028	1,193	45,138	131	45,269
セグメント間の内部売上高又 は振替高	584	3,866	—	1,235	5,686	—	5,686
計	32,789	14,577	1,028	2,428	50,824	131	50,955
セグメント利益又は損失(△)	△569	△170	58	151	△529	75	△453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△529
「その他」の区分の利益	75
セグメント間取引消去	122
全社費用(注)	△855
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,186

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	建材	形材外販	環境	物流	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	—	—	—

（注）「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	建材	形材外販	環境	物流	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	—	209	209

（注）「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。